

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報
(11月14日～11月20日の情報)

1. 行政による放射性物質検査

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています。11月14日から11月20日までに6007件の検査がおこなわれました。基準を超えたものは2検体でした(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

2. 検査結果について

(1)検査結果の概要

表1. 検査結果の抜粋(11月14日～11月20日に検査された検査結果)です。

※検査を全国の都道府県で実施されていますが、ここで公表するのは福島県に隣接する県、もしくは、その週に基準を超えたものが発表された都道府県とします。

	都道府県名	検査数	基準超 合計	今週基準を 超えたもの		都道府県名	検査数	基準超 合憲	今週基準を 超えたもの
福島 県	農産物	234	1	ナメコ	栃 木 県	農産物	71	0	—
	畜産物	390	0	—		畜産物	350	0	—
	水産物	207	0	—		水産物	0	0	—
	牛乳乳児用食品	9	0	—		牛乳乳児用食品	3	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	36	0	—		飲料水、その他	6	0	—
宮 城 県	農産物	85	0	—	群 馬 県	農産物	24	0	—
	畜産物	133	0	—		畜産物	546	0	—
	水産物	31	0	—		水産物	0	0	—
	牛乳乳児用食品	5	0	—		牛乳乳児用食品	3	0	—
	野生鳥獣肉	6	1	ツキノワグマ		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	2	0	—		飲料水、その他	6	0	—
茨 城 県	農産物	11	0	—	千 葉 県	農産物	32	0	—
	畜産物	425	0	—		畜産物	40	0	—
	水産物	35	0	—		水産物	20	0	—
	牛乳乳児用食品	0	0	—		牛乳乳児用食品	0	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	1	0	—		飲料水、その他	2	0	—

表2. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2016年 6月 5日	93.3%	6.7%	0.0%
2016年 6月12日	95.1%	4.9%	0.0%
2016年 6月19日	94.8%	5.2%	0.0%
2016年 6月26日	96.6%	3.4%	0.0%
2016年 7月 3日	96.7%	3.3%	0.0%
2016年 7月10日	96.9%	3.1%	0.0%
2016年 7月17日	97.6%	2.4%	0.0%
2016年 7月24日	96.5%	3.5%	0.0%
2016年 7月31日	95.6%	4.4%	0.0%
2016年 8月 7日	96.6%	3.4%	0.0%
2016年 8月14日	95.5%	4.5%	0.0%

2016年 8月21日	95.6%	4.4%	0.0%
2016年 8月28日	95.8%	4.2%	0.0%
2016年 9月 5日	97.0%	3.0%	0.0%
2016年 9月12日	93.4%	6.5%	0.0%
2016年 9月19日	96.8%	3.2%	0.0%
2016年 9月26日	98.8%	1.2%	0.0%
2016年10月 2日	97.0%	3.0%	0.0%
2016年10月 9日	96.5%	3.5%	0.0%
2016年10月16日	97.0%	3.0%	0.0%
2016年10月23日	95.3%	4.7%	0.0%
2016年10月30日	94.9%	5.1%	0.0%
2016年11月 6日	98.1%	1.9%	0.0%
2016年11月13日	98.6%	1.4%	0.0%
2016年11月20日	96.3%	3.7%	0.0%
2015年10月平均	(92.8%)	(7.2%)	(0.0%)

基準を超えた沿岸魚はみつきりませんでした。これで83週連続、基準を超えた魚介類が見つかっていません。検出限界以下の割合は約96%となりました。全体的に大きな変化は見られません。魚介類から検出されるセシウム137も10ベクレル以下という結果となっています。11月22日、福島県沖で大きな地震が発生しました。今のところ大きな被害が出ているとの情報はありません。福島第一原子力発電所についても倒壊等はないのか少し気になるところです。

さて、何らかの数値が検出されている魚種と地域です。①いわき市(クロダイ、コモンカスベ)②広野町(コモンカスベ、ヒラメ、マコガレイ)③大熊町(シロメバル)でした。今後も監視を継続します。

(2)検査について基準を超えたものについて

①福島県で採取されたナメコについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨公表されました。

ア. 福島県会津美里町:ナメコ(120 ベクレル/キログラム)

福島県会津美里町で採取されたナメコについてはすでに出荷制限措置がとられているため、市中に出回っていません。

②宮城県で捕獲されたツキノワグマについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨公表されました。

ア. 宮城県大崎市:ツキノワグマ(140 ベクレル/キログラム)

宮城県大崎市で捕獲されたツキノワグマについてはすでに出荷制限措置がとられているため、市中には出回っていません。

(3)京都の空間線量(11月14日～11月20日)

京都市の空間線量は(16.9メートル地点)、0.039～0.046 マイクロシーベルト/1時間、1メートルの高さの推計値は0.047～0.054 マイクロシーベルト/1時間となっています。福島市の空間線量は(2.5メートル地点)は0.12～0.13 マイクロシーベルト/1時間(1メートル地点は0.16 マイクロシーベルト/1時間)となっており、原発事故以降、最低値になっています。2012年の同時期が0.8 マイクロシーベルト/1時間となっており、今はこの時の

5分の1くらいになっています。過去の平均は0.037～0.046 マイクロシーベルト/1時間(2.5メートル地点)となっておりまだまだ高い空間線量となっています。ただ、岐阜県や愛媛県といった日本でも放射線量の高い地域と比較した場合、倍くらいの値となっています。

(4)京都府で収穫、捕獲した農水産物の結果

京都府で収穫、捕獲されたヤマノイモ、柿、白大豆、京たんご梨の検査が行われました。結果はすべて不検出(検出限界は22～23ベクレル/キログラム)でした。

3. 関連情報

今週、関連した記事はありませんでした。

以上